

第7回「燕三条 工場の祭典」参加募集要項 詳細

2019年1月

「燕三条 工場の祭典」実行委員会

1 開催内容

2013年度から開催している「燕三条 工場の祭典」は、燕三条地域の名だたる工場が、開催期間中、一斉に工場を開放し、訪れた方々に工場でのものづくりを体感していただくイベントです。

第6回の開催では、109の参加事業所に延べ53,345名のお客様がお見えになり、初年度から比べると参加事業所は2倍に、来場者数はおよそ5倍に増え、回を重ねるたびに盛り上がりを見せています。

この度、第7回となる「燕三条 工場の祭典」の開催にあたり、参加事業所を募集します。金属加工品を中心とする「工場(KOUBA)」、野菜や果物、米を生産する「耕場(KOUBA)」、さらに地場産品を購入できる「購場(KOUBA)」と3つの切り口のKOUBAの力を終結させることで、ものづくりの魅力を発信、地域全体の価値を高めていきます。

(1) 開催概要

開催名	第7回「燕三条 工場の祭典」
開催期間	2019年10月3日(木)～10月6日(日) 9:00-17:00
開催場所	新潟県三条市・燕市全域、及び周辺地域
主催/運営	「燕三条 工場の祭典」実行委員会
共催	公益財団法人燕三条地場産業振興センター、三条市、燕市
監修等	method / イベント全体監修 SPREAD / アートディレクション、デザイン HOW / PR 神宮巨樹写真事務所 / 撮影

(2) 開催方針

コンセプト

「燕三条は、KOUBAで、人を繋げる」

ステートメント

毎日私たちが「ものづくり」をしている場所、それが「KOUBA」。

私たちの誇りの結晶である「KOUBA」こそが、私たち自身の魅力を最大限に発揮できる場所。

いま、私たちの「KOUBA」を開放し、多くの人々に「ものづくり」を感じてもらおう。

私たちは「KOUBA」で「ものづくり」を行い、商品の作り方、そして商品そのものを熱く語ろう。

きっと「KOUBA」を訪れた人々は、そんな私たちの情熱を感じ、
大きな興味を持って商品を手にしてもらえることだろう。
私たちが誇りを持って全力で取り組めば、きっとそのような風景が見えるはずだ。

「ものづくり」に興味のある人々、私たちと話したい人々の中には、
次世代を担う職人候補が現れるかもしれない。
もしかしたら職人と恋したい人々さえも来るかもしれない。
人々は、見学や実演といった体験を経て、また、私たちと語り合うことで、
確実に燕三条を愛してくれるようになるはずだ。
いま、大きく一步を踏み出し、「KOUBA」の魅力を最大限に発揮し、燕三条を「ものづくり」の聖地にしていこう。

「燕三条 工場の祭典」五カ条

- 1, KOUBA では、誇りを持って何事にも全力で取り組む事
- 2, KOUBA で、ものづくりの本質を人々に体感してもらう事
- 3, KOUBA が活性化することで、地元地域の雇用に貢献する事
- 4, KOUBA での仕事が、子供達にとって憧れや夢となる事
- 5, 燕三条の KOUBA を、ものづくりの聖地にする事

(3) 開催実績

■過去 6 年間の推移

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
開催期間	2013.10.2-6 (5 日間)	2014.10.2-5 (4 日間)	2015.10.1-4 (4 日間)	2016.10.6-9 (4 日間)	2017.10.5-8 (4 日間)	2018.10.4-7 (4 日間)
参加 KOUBA 数	54	59	68	96	103	109
来場者数	10,708 人 (県外 39.0%)	12,661 人 (県外 40.7%)	19,312 人 (県外 37.1%)	35,143 人 (県外 39.1%)	53,294 人 (県外 36.1%)	53,345 人 (県外 27.0%)
販売金額	3,882,227 円	4,794,841 円	7,830,075 円	27,458,562 円	38,221,874 円	37,208,694 円

■メディア掲載数(2018 年度のみ)

245 件(TV10 件、新聞 45 件、雑誌 27 件、ラジオ 4 件、WEB59 件)

■過去受賞歴

- ・2014 年 ふるさとイベント大賞にて選考委員特別賞。産業観光まちづくり大賞にて経済産業大臣賞、グッドデザイン賞
- ・2016 年 第 64 回日本観光ポスターコンクールにて、ポスター総務大臣賞を受賞。
- ・2017 年 Red Dot Award: Communication Award 2017 受賞、第 8 回地域再生大賞にて優秀賞受賞。
- ・2019 年 German Design Award 2019 受賞

(4) 実施内容

ア 当日までの事前準備

定例会議への参加

参加 KOUBA が確定後、イベントまでの約半年間、定期的に(月に1回程度)、平日夜を中心に参加者・関係者全員による定例会議を開催します。

「燕三条 工場の祭典」実行委員会から、イベントの進捗状況を報告します。また今年から定例会議のたびに、参加 KOUBA および関係者のみ対象となる、勉強会を開催します。燕三条 工場の祭典に向けて準備する上で「KOUBA のどんな部分を、どうやって売り手や、使い手に見せて、どんな感動を伝え、どうやって人とつながっていくのか」はもちろん、「燕三条、各企業のブランドや価値をどのように高めていくべきなのか」について、参加者全員で勉強し、学びを共有し、高め合う場にしていきます。

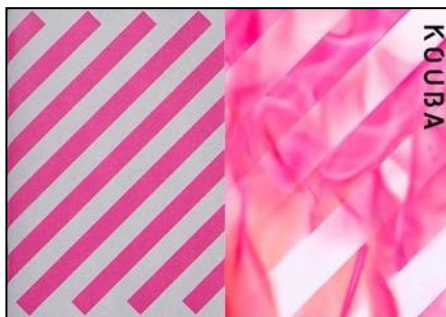


制作物の作成への協力

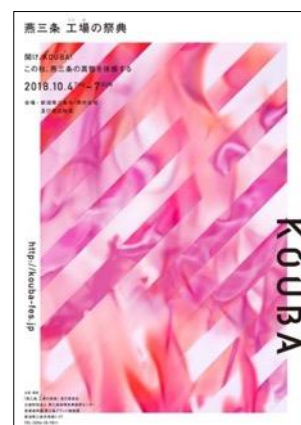
「燕三条 工場の祭典」では、来場者が燕三条地域をより楽しんでいただけるための制作物や、イベントを周知するためのフライヤーなど、イベントを周知・運営する上で、様々な制作物を作成しています。

参加 KOUBA の皆様には、当日の開放情報、事業所情報、製品及び事業所内の写真撮影等に協力していただきます。

[参考:第6回(昨年)のガイドブック]



[第6回(昨年)のフライヤー]



周知事業への協力

イベントを周知するために、今まで事前に日本国内外でPRイベントを行ってきました。また昨年は、外務省の事業の一環で、イギリス・ロンドンに開館された「ジャパン・ハウス ロンドン」での企画展、スイス・ランゲンタールにて開催されたデザインイベント「Designers' Saturday」への出展を行いました。

今年の周知活動は現在検討中ですが、内容によっては、参加事業所から製品借用やアテンド対応など協力していただく可能性がございます。



ツーリズム EXPO ジャパン(2016.9.23~25)



新潟伊勢丹 越品(2017.8.2~8.7)



ジャパン・ハウス ロンドン(2018.9.5~10.28)

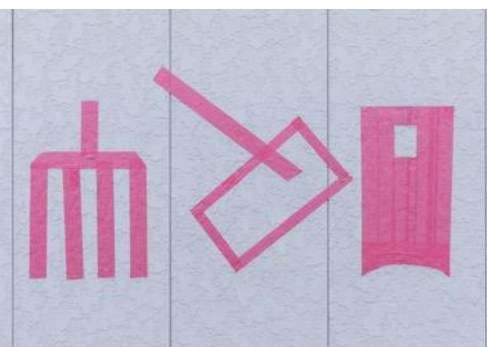


スイス・Designers' Saturday(2018.11.2~4)

装飾

「燕三条 工場の祭典」の特徴の一つが、ピンクとシルバーのストライプのデザイン。燕三条の誇るべき炎(ピンク)と金属(シルバー)の色、そして工場を開く象徴的なデザインから着想を得たデザインです。会期では、ピンクの斜めストライプ柄の「段ボール」、ピンクの「テープ」を参加 KOUBA に配布し、KOUBA の入口から内部に誘導サインや看板を作るなどの装飾を施し、そしてピンクストライプの T シャツを着用し、一般の来場者を迎え入れます。

KOUBA ごとに工夫をこらし、年々、装飾のレベルを高め続けている事業所もあります。毎年の KOUBA 装飾を楽しみにしているお客様も多くいらっしゃいます。T シャツは、毎年お客様から欲しいとの声が聞かれますが、お客様を受け入れる私達だけが手に入れることができる人気グッズの一つです。





大学連携

2017年度から、長岡造形大学と連携し、長岡造形大学の学生とKOUBAがチームとなり、当日装飾を施すプロジェクトを行なっています。この大学との連携プロジェクトを通じて、社会の疑似体験を行い学生と燕三条地域が繋がり、少しでも燕三条地域やものづくり、各KOUBAの存在をより身近に感じてもらうことを目指しています。

第7回も、引き続き連携プロジェクトを行う予定で、装飾先KOUBAを募集しています(詳しくは別紙資料)。

デザインを学ぶ学生達がより活躍できる存在になるための実戦の機会として、また燕三条地域と関わりを持つ機会として、ご協力いただけるKOUBAはぜひお申し込みください。



※ご興味のある方は別紙資料をご確認いただき、お申し込みください。

イ イベント期間中（2019年10月3日(木)～10月6日(日)の4日間）

見学(工程説明・商品解説など)

「工場見学」と言っても、まず思いつくのは、稼働している工場の中を工程や機械の解説をしながら見てもらう、という方法ですが、やり方は他にも色々あるはずです。たとえば、工場が非稼働であっても、停止した機械を背に、材料の種類や、加工方法、つくった製品の種類の違いを説明し、普段、皆さんがどれだけの手間暇をかけて、日々、商品づくりに励んでいるかを聞くだけでも、来た人は商品の違いに感動するはずです。

「耕場」や「購場」も「工場」と同様に、農園等で農産物の育て方や農作物の種類の違いや、商品に込められたものづくりに携わるひとの思いやこだわりを説明し、魅力を伝えましょう。



体験(ワークショップ)

「体験」には、ものを「つくる」体験以外にも、「なおす」体験、「つかう」体験など、工夫次第でさまざまな体験があります。また「耕場」では、農作物の収穫体験、あるいは野菜や果物の試食体験など、さまざまな体験が考えられます。

[つくる体験]

今では機械化している作業を、あえて手で体験してもらい、加工の難しさを感じてもらいながら、小さなアクセサリを作ってもらえるような体験を、学校や公民館ではなく、皆さんの普段の息遣いが感じられる工場の中で行うことも、かけがえのない思い出になることでしょう。

[つかう体験]

たとえば、「庖丁は三徳だけで充分」、「三徳以外の庖丁は知らない」という人に、菜切や出刃を使って野菜や魚を切ってもらえることで、用途に合った道具の選び方、道具を使い分けることを感じ、道具を使うことの楽しさを感じてもらえることできるでしょう。

[なおす体験]

手間暇かけて作った道具は、手間暇かけて手入れをし、末永く使ってほしいもの。ところが「手入れの仕方が分からない」、「どうせすぐに壊してしまうから」という理由で安いものを使い捨てる風潮があることも現実です。手入れの仕方を伝えることで、長持ちする商品の魅力を再評価してもらえらるでしょう。

例) 鋳造体験(つくる体験)



例) 彫金のタガネ使用体験(使う体験)



例) 収穫体験



例) ハーブティー体験(試食・試飲体験)



販売

「見学」や「体験」によって、KOUBA の魅力を十分に感じた来場者の方は、きっとそこで生産された商品が欲しいという欲求が強くなるはずです。もちろん、参加事業所によっては、これまでの流通ルートとの関係やマンパワー不足等で自分たちの製品を販売できないという方もいらっしゃると思います。流通業者との協力による販売や、販売先の紹介など可能な範囲で商品を販売し、来場者に燕三条の魅力ある商品を届けていきましょう。

事業所の前で販売コーナーを設けてみたり、店舗を持つ「KOUBA(購場)」と連携して販売に取り組むこともできます。



その他(ツアー・レセプションなど)

イベントは、事業所で行われる「見学」、「体験」、「販売」が中心となりますが、来場者と参加 KOUBA の方とのつながりをより作っていくために、その他にも様々な企画を用意しています。

昨年は、「燕三条 工場の祭典」実行委員会が企画・運営し、参加 KOUBA を巡るバスツアーを開催しました。ツアーにはガイドの方々が丁寧に地域の歴史や、工場の魅力を説明して下さる特典もあるため、お客様に大好評のコンテンツです。今年も工夫を凝らしたバスツアーの開催を検討中です。

また、日中だけでなく、夜も職人と交流できる催しも設けました。各 KOUBA で主催したレセプションや、実行委員会が企画・運営した三条ものづくり学校でのオフィシャルレセプションを開催しています。夜のレセプションでは、KOUBA にピンクストライプのプロジェクションを投影し、昼とはまた異なる工場の魅力を引き出します。

[オフィシャルツアー]



[レセプション]



2 募集内容

対象

- ・三条市・燕市内※に本社・事業所を有する KOUBA で見学・体験・販売を実施する法人および個人。
- ・業種に制限はございません。
- ・単独企業ではなく、メンバー1社の KOUBA に集まって、グループで参加いただいても構いません。(その場合、代表企業を設けてください。)

例1) 製造業者と卸売業者のグループでの参加

- ・製造業者の工場を会場として、卸売業者が来場者に工程を説明したり、製造業者の商品を販売したりする。

例2) 製造業者と飲食業者のグループでの参加

- ・製造業者の工場を会場として、製造業者は工場見学等を実施し、飲食業者が、その製造業者の商品(器やコップ、カトラリー、箸など)を使った飲食体験などを実施する。

※三条市・燕市以外の地域からの参加については、事務局までお問合せください。

なお、検討の結果、参加いただけない場合もございます。あらかじめご了承ください。

参加内容

- ・見学(KOUBA 見学、製品展示など)
- ・体験(つくる体験、つかう体験、なおす体験等のワークショップ)
- ・販売(通常商品・蔵出品・限定品) など

※詳細は、P.4.5 をご確認ください。

参加方法

[見学]

- ・フリー: 下記3つの指定時間の中から選択し、その指定時間内であれば、いつでも見学・体験等が可能。

①午前 9:00-12:00

②午後 13:00-17:00

③上記①、②の両方

※「購場」を除き、12:00-13:00 は「燕三条 工場の祭典」全体の休憩時間とします。

- ・時間制: 下記6つの開始時間から選択(複数選択可)し、指定の開始時間までに、来場者が集合(受付)して、見学・体験等を実施。

①9:00- ②10:00- ③11:00- ④13:00- ⑤14:00- ⑥15:00- ⑦16:00-

※各時間帯ともに30分-60分程度の見学・体験

[体験]

- ・フリー: 上記「見学」と同様。
- ・時間制: 上記「見学」と同様。
- ・予約制: 事前に各工場に予約を申込みをした方を対象として体験を実施。

募集数

100 事業所程度

参加費

従業員 20 名以下の事業所等 20,000 円、従業員 21 名以上の事業所等 50,000 円

※参加費は広報物制作費、装飾費等に充当させていただきます。

※三条市・燕市以外の地域の事業所等は、上記金額より 10,000 円増になります。

参加条件

- ・4 日間で、2 日間以上は開放をお願いいたします。
- ・お客様が多く訪れる 5 日(土)、6 日(日)はなるべく開放にご協力をお願いします。
- ・定例会議の参加、ガイドブック等の作成、装飾、成果報告等に協力していただきます。
- ・デザイン等のルールは必ず守ってください。
 - 「燕三条 工場の祭典」公式ロゴ、および画像は無断使用しないこと
(例)工場の祭典ホームページからロゴをダウンロードし、自社 HP に使用すること
(例)実行委員会が撮影した公式画像を、外部記事からダウンロードやスクリーンショットを撮り、自社のチラシに使用すること
 - ロゴ・画像の使用を希望する際は実行委員会に相談すること
 - 各 KOUBA の装飾ルールは、会議時に配布されるデザインルールに沿ったものにする
- ※ロゴ・画像については「燕三条 工場の祭典」周知に繋がる用途のみとし、自社 PR には原則使用は不可。
※より詳細のデザインルールについて、参加 KOUBA 確定後、会議にてご説明させていただきます。
- ・「燕三条 工場の祭典」をテーマとした講演や取材については、実行委員会へのご連絡をお願いいたします。

「燕三条 工場の祭典」の趣旨を理解し、上記条件に同意いただける方。

※本イベントの趣旨に反するような参加形態の場合は、お断りさせていただく場合がございます。

3 申込方法

申込期限

3 月 8 日(金) 12:00 まで

申込方法

別紙の「申込書」に必要事項を記入の上、下記事務局までメール又は FAX で提出してください。

WEB 上でもお申込みいただけます。 <https://goo.gl/forms/ZnjmyCag3wbDPF9q1>



※「参加費」も申込期限までにお支払いくださるようお願いいたします。

※別紙の申込書の「KOUBA 基本情報」は必ずご記入ください。「参加日程」は現時点での想定でご記入ください。

申込後、改めて正式にご案内いたします。

申込先

[申込書提出先]

公益財団法人燕三条地場産業振興センター 産業振興部 燕三条ブランド推進課

FAX 0256-32-5701

E-mail kouba-fes@tsjiba.or.jp

[参加費支払先]

○持参の場合（以下2つのうち、いずれかに持参ください）

三条市 経済部 商工課

燕市 産業振興部 商工振興課 観光振興室

○振込の場合（振込手数料は、参加企業負担でお願いします）

第四銀行 三条支店 普通 No.1445144

※2019年3月31日まで下記口座名となります。

フリガナ)ツバメサンジョウコウバノサイテンジッコウインカイ ジッコウインチョウ ヤマダリツ
名義) 燕三条工場の祭典実行委員会 実行委員長 山田 立

※2019年4月1日以降は下記口座名に変更になります。

フリガナ)ツバメサンジョウコウバノサイテンジッコウインカイ ジッコウインチョウ サイトカスヤ
名義) 燕三条工場の祭典実行委員会 実行委員長 斎藤 和也

4 主なスケジュール

3月8日(金)	応募受付締め切り、参加費支払締切
3月 - 4月	ブックレット掲載情報の作成・提出(当日の詳細情報、写真等の提供など)
4月 - 9月	定例会議(参加者全体会議)をおおよそ月1ペースで開催 チラシ、ガイドブックなどの校正、各種PRイベント参加・協力など
8月 - 9月	チラシ、ガイドブック、ポスターなどの配布
10月3日(木)-6日(日)	イベント開催期間
11月	成果報告会

※ 上記スケジュールは、作業の進捗状況により、変更の場合がございます。

■ 主催・運営	「燕三条 工場の祭典」実行委員会
■ 実行委員会事務局	公益財団法人燕三条地場産業振興センター 産業振興部 燕三条ブランド推進課 三条市 経済部 商工課 燕市 産業振興部 商工振興課 観光振興室